

平成 22 年度事業報告

平成 22 年度は、交通科学博物館及び梅小路蒸気機関車館がヨーク市所在の英国国立鉄道博物館（National Railway Museum。以下、「NRM」という。）と姉妹提携協定を締結してから 10 周年を迎えたため、それを記念する諸事業に年度を通じて取り組んだ。

また、新しい公益法人制度に関する法律が平成 20 年 12 月 1 日に施行され、その日から 5 年以内に一般法人か公益法人のいずれかに移行する必要があるが、公益財団法人を目指すこととし、年度を通じてそのための活動を行い、平成 23 年 4 月 1 日をもって公益財団法人に移行することができた。これに関連して新たな部内規程の制定を行うとともに、従来規程についても全面的な見直し整備を行った。

このほか、交通科学博物館及び梅小路蒸気機関車館の運営に当たり、従来に引き続き、展示の充実、催物の活性化、資料の収集・整備・保存、教育普及活動・調査研究等を推進した。

I 博物館運営等

1 常設展示

(1) 交通科学博物館

余部橋りょう架け替え完成に合わせて、第 6 室「鉄道と文化」のコーナーを「鉄道と絵はがき」から余部橋りょうをテーマとした展示に入れ換えた。そのほか、若干の新規展示を行うとともに展示品整備、施設・設備補修を実施した。

ア 新規展示（主なもの）

- (ア) 模型鉄道パノラマ室 223 系「関空紀州路快速」（縮尺 1/87）
- (イ) 第 2 室 鉄道錦絵・一号機関車模型
- (ウ) 第 6 室 「余部橋りょう」のいま・むかし

イ 展示品整備

クモハ 100 系電車・新幹線ミニシアター安全対策工事、第 4 室「安全に列車を走らせよう」列車運転装置オーバーホール、C62 形蒸気機関車動輪・主連棒等の研磨、館内車両の昇降用階段手摺等の修繕、第 2 展示場「ポイントのしくみ」展示改良、第 2 展示場「連動装置」解説パネル設置等

ウ 施設、設備工事

雨漏り修繕、誘導灯・防火扉等防火設備の点検及び改善工事、企画展示室シャッター取替え工事 等

(2) 梅小路蒸気機関車館

ア 新規展示（主なもの）

- (ア) 旧二条駅舎内 マラード号などの英国製 HO ゲージ鉄道模型

イ 展示品整備

C11 カットモデル加減弁の音声装置修理、蒸気機関車年表修正、蒸気機関車の歴史展示モニター取替、蒸気機関車配置掲示板の設置 等

ウ 施設、設備工事

扇形車庫・旧二条駅舎構造物検査、転車台東側通路床面舗装工事、扇形車庫天井一斉点検 等

2 企画展・イベント等

平成22年度は、交通科学博物館、梅小路蒸気機関車館ともNRMとの姉妹提携10周年記念事業を中心に据え、企画展・多客期イベント等において年間を通してこれをテーマとして採り上げた。

それ以外の主なテーマは、大阪環状線開業50周年と特急『つばめ』80年であり、それぞれ交通科学博物館と梅小路蒸気機関車館の企画展のテーマとして採り上げた。

(1) 交通科学博物館

ア 企画展等（NRM姉妹提携10周年記念関連）

(ア) 英国国立鉄道博物館姉妹提携10周年のあゆみ（4/7～5/5）

NRMを紹介するパネルや写真、模型、関連グッズなどを展示。

(イ) 「英国国立鉄道博物館の魅力展」（10/9～12/19）

NRMの魅力やイギリスの文化などの紹介も交えて、写真や模型、絵本などにより展示。

(ウ) 「日英子ども鉄道絵画展」（10/9～平成23年1/30）

姉妹提携10周年を記念した交流事業として両国の子供が描いた鉄道絵画を募集し展示。

募集対象 1. 高学年の部（小学4年生から6年生） 2. 低学年の部（小学1年生から3年生）
3. 幼年の部（4才以上小学生未満）

応募者数 2,089名（同一者の複数点応募、無記名あり）

応募総数 2,284点（高学年の部366点、低学年の部903点、幼年の部919点、3才以下69点、
無記名27点）

絵画展開催状況

入賞作品132点（各部門 金賞1点、銀賞3点、銅賞10点、佳作30点）と英国児童の作品49点を展示し、選外作品についても縮小印刷したものを展示。

オープニングイベントにおいては、日英両館長（NRMは、スコット前館長。）の挨拶、絵画展の入賞者（日本側）の表彰式等を実施。

なお、2011年7月より、入賞作品（金・銀・銅賞）42点と英国児童の作品49点がNRMにて展示予定。

イ 企画展等（NRM関連以外）

(ア) 企画展「～King Of Hobby～ようこそ～ 鉄道模型の世界」（平成22年3/20～5/30）

鉄道模型がどのように趣味として広がってきたかや、鉄道模型の種類、趣味としての楽しみ方などを紹介。

(イ) 大阪環状線開業50周年記念企画展「ぐるっとまわって50年～オレンジの歴史がなにわを駆けめぐる～」（平成23年3/19～5/29）

大阪環状線の生い立ちや環状線19駅とその周辺の街の紹介、運転席からの3D映像、環状線ジオラマ模型等を展示。また、ニンテンドーDSを使った音声ガイドも導入。

ウ 部外協力展

館の展示替えの期間等を活用し、部外の団体に活動の場所を提供した。

(ア) 「鉄道友の会クラシック会写真展」（5/8～6/26）

鉄道友の会クラシック会会員が撮影した関西の懐かしい列車や電車の写真を展示。

(イ) 近畿大学鉄道研究会第31回鉄道展「秩父鉄道」（6/19、20）

近畿大学鉄道研究会学生が撮影した秩父鉄道の写真とジオラマ模型を展示。

- (ウ) 「モデルシップ友の会作品展」(7/4～8/28)

モデルシップ友の会会員が紙で制作した船の模型と写真を展示。

- (エ) 京都大学鉄道研究会写真展「鉄道のある情景」(9/4～26)

京都大学鉄道研究会現役学生とOBが国内外で撮影した写真等約60点を展示。

- (オ) 関西大学鉄道研究会写真展「よみがえるあの時代」(平成23年1/3～3/27)

関西大学鉄道研究会会員が撮影した関西の市電を中心とした写真を過去と現在で比較できるように展示。

エ イベント (NRM姉妹提携10周年記念関連)

- (ア) GWイベント「きかんしゃトーマスとなかまたち わくわくトレインツアー出発進行！」(4/29、5/1～5)

きかんしゃトーマスのミニ列車の運転会などを開催

- (イ) 絵画展関連イベント「絵を描こう2010」(6/13、7/21、28、8/7～12、16～21、23～28)

日英こども鉄道絵画展にちなんで、館内で鉄道に関する絵を描くイベントを開催。

- (ウ) 夏休みイベント「きしゃぽっぽ たんじょうものがたり」(7/17～8/31)

イギリスでの鉄道誕生秘話や、蒸気機関車にまつわる様々な工夫を子供向けに紹介。

オ イベント (NRM関連以外)

- (ア) GWイベント「ミニ500系新幹線電車運転会」(4/29、5/1～5)

ミニ500系新幹線の運転会などを開催

- (イ) 「親子で挑戦スタンプラリー」(8/8～30【土・日・祝日と繁忙期】)

株式会社ベネッセコーポレーションの協力でスタンプラリーを実施。

- (ウ) 「義経号をみがこう」(10/2)

「義経号」の足回りなどを磨くことを通して、蒸気機関車に親しんでいただくイベントを開催。

- (エ) 鉄道の日イベント「こうはく鉄道フェスタ」(10/9～11、14)

お子様用の制服の貸出し、ミニ500系とミニSLの運転会、「義経号」のオープン展示など。

- (オ) 秋の防災イベント「みなと防災フェスタ'10」(11/20)

大阪市港消防署との共催で、はしご車の乗車体験や消防車両の展示、起震車の体験などを実施。

- (カ) 交通科学博物館のクリスマス(12/1～25)

館内各所や展示車両にクリスマスの飾り付けを行った。

- (キ) 「山陽・九州新幹線の展示」(12/5～)

新大阪―鹿児島中央の新幹線直通運転を記念して、九州新幹線等の紹介パネルや資料、映像等を展示。

- (ク) 熊本県キャラクター「くまモン」来館(12/5)

熊本県のキャラクター「くまモン」による入館者とのふれあいを行うイベントを開催。

- (ケ) ママカフェ(平成23年2/5～27)

企画展示室を飲食可能にして、くつろげるスペースを提供するとともに、工作教室なども行うイベントを開催。

カ その他部外協力等

- (ア) 厚生労働省主催「児童福祉週間」 : 子供の入館料無料 (5/5)
- (イ) 関西広域機構主催「関西文化の日」 : 入館料無料 (11/20、21)

(2) 梅小路蒸気機関車館

ア 企画展等 (NRM姉妹提携 10 周年記念関連)

- (ア) 姉妹提携 10 周年記念式典等 (4/10)

日英両館長挨拶 (NRMは、デイビス館長。)

講演「鉄道博物館における国際協力の重要性について」 デービス館長

講演「博物館における資料の収集と活用について」 NRMアシユビー部長

講演「英国で日本の鉄道車両が走る」 日立製作所 光富 眞哉営業本部長

記念植樹 (桜)、記念銘板除幕

- (イ) 写真展「日本を走った英国製蒸気機関車たち」(4/7~7/4)

明治初期に各地の官設鉄道や私設鉄道で活躍した英国輸入の代表的な蒸気機関車を、写真とともに片野正巳氏の精密画を交えて紹介。

- (ロ) パネル展「姉妹提携 10 周年の歩み」(4/10~6/27)

姉妹提携を結んで以来、10年間の交流の様子をパネルやスライドショーで紹介。

- (ハ) 写真展「英国の保存鉄道と鉄道博物館」(7/6~9/26)

ボランティアスタッフが活躍する英国内の保存鉄道や博物館を紹介。

- (ニ) イラスト展「1080号蒸気機関車と日本の鉄道」(7/13~9/26)

昨年9月に日鉄鉱業株式会社よりJR西日本に寄贈された英国製1070形1080号蒸気機関車が当館で保存となるまでの経歴をイラストで紹介。

- (ホ) パネル展「英国国立鉄道博物館の魅力」(10/9~平成23年1/30)

NRMに保存されている多数の蒸気機関車などをパネルで紹介。

- (ヘ) 「日英子ども鉄道絵画展」(平成23年2/5~4/10)

日英の子供たちが描いた作品を交通科学博物館に引き続き展示。

- (ヘ) パネル展「英国鉄道ものしり話」(平成23年2/8~3/27)

日本の鉄道とは異なる駅や施設をパネルで紹介。

イ 企画展等 (NRM関連以外)

- (ア) 写真展「特急『つばめ』80年の軌跡」(10/5~平成23年1/30)

「つばめ」の愛称が付いた列車が昭和5年に東海道線の特急として登場し、今年で80周年を迎えることから、これを記念して資料類とともに写真を紹介。

ウ 部外協力展

- (ア) 写真展「明治期の京都の鉄道風景」(平成23年1/29~3/21)

京都市博物館施設連絡協議会「第16回ミュージアムロード」の協力展として明治時代の東海道線の駅や施設を写真パネルで紹介。

エ イベント (NRM姉妹提携 10 周年記念関連)

- (ア) GWイベント「日英の鉄道わくわくキッズフェア」(5/1~5/5)

日英の有名な鉄道車両をデザインしたスタンプを集めるスタンプラリーやミニSLの乗車体験など家族や友達と楽しんでいただけるイベントを開催。

- (イ) 絵画展関連イベント「絵を描こう in 梅小路」(6/27、8/1、8/8、8/15、8/22、8/29)

日英こども鉄道絵画展にちなんで、館内で鉄道に関する絵を描くイベントを開催。

- (ウ) 夏休みのイベント「ネルソン君とわくわく夏休み」(7/17～8/31)

イギリス生まれの1080号蒸気機関車の運転室見学やイギリスの駅舎を模したセットでのビッグパイプ演奏会などを開催。

- (エ) 「ネルソン君」展示開始1周年記念イベント(9/18～20)

1080号蒸気機関車保存展示1周年を記念して、「ネルソン君」に関連した当館オリジナル絵本を作成し、「読み聞かせ」を開催。また、同機に記念ヘッドマークを取り付け庫外に展示。

オ イベント(NRM関連以外)

- (ア) C57形1号蒸気機関車の庫外展示(6/26、27)

4年に1度の全般検査を終えたC57形1号蒸気機関車を庫外に展示。

- (イ) 鉄道の日イベント「2010年は“B2010年”SL館鉄道フェスタ」(10/9～14)

B2010号蒸気機関車を“2010年”にあわせ、お客様と「B2010号蒸気機関車」との綱引きなどのイベントを開催。

- (ウ) 「受験生を応援！合格祈念券」の配布(10/19～平成23年3/13)

第一段として、SLスチーム号で使用されている「砂」を合格祈願の『すべらずの砂』として受験生に配布し、第2段は23年1月から「石炭」を追加し、『燃えろ受験生』として、合格祈念券のキップとともに入館受験生に配布。

- (エ) クリスマスイベント「梅小路のわくわくクリスマス」(12/1～25)

展示蒸気機関車をクリスマスリースなどで飾り、ミニコンサートや館内ガイドツアーなどを開催。

- (オ) お正月イベント「2011年もSL三昧」(平成23年1/4～10)

蒸気機関車の「頭出し」や蒸気機関車のスドで作った墨を使っての書き初めを実施。

- (カ) 春休みイベント「梅小路でわくわく鉄道体験」(平成23年3/19～31)

普段は入れない「転車台」を歩いて見学していただけるなどの体験型イベントを開催。

カ その他部外協力等

- (ア) 落語家「桂梅団治」噺家生活30周年を祝う会主催「新作鉄道落語 ミニ寄席」:会場提供(4/11)

- (イ) 京都市日本保育協会主催「SLこどもフェスタ」:ミニSL運転、入館料割引(5/21)

- (ウ) 厚生労働省主唱 「児童福祉週間」:子供の入館料無料(5/5)

- (エ) JR西日本営業本部、創造本部主催J-WESTカード会員限定 親子で楽しもう「梅小路蒸気機関車館特別見学会」:硬券印刷体験、見学ツアー(8/28)

- (オ) 京都市児童館学童連盟主催「やんちゃフェスタ」:ミニ新幹線運転、入館料割引(10/23)

- (カ) 関西広域機構主催「関西文化の日」:入館料無料(11/20、21)

- (キ) 京都市主催、JR西日本など鉄道会社7社協賛歩くまち京都「京都フリーパス」:入館料割引(12/11～平成23年3/23)

- (ク) 京都市科学系博物館等連絡協議会主催「科博連サイエンス・フェスティバル」:ワークシート「動

く構造としくみ」No.1～10の資料提供（平成23年2/19）

(ケ) 京都市伝統産業課主催「きものでおでかけ」：着物姿の方は入館料無料（平成23年3/12～21）

3 定例行事・活動

(1) 交通科学博物館

- ア パノラマ鉄道模型の運転 : 1,277回（うち臨時運転 80回）
 イ ミニSL‘シュッポ君’運転会 : 運転日数16日間、乗車人員8,927人（558人／日）

(2) 梅小路蒸気機関車館

- ア SLスチーム号の運転 : 運転日数 317日間、2,333回（うち臨時運転 1,382回）、
 乗車人員 144,123人（62人／回）
 イ ミニSL運転会 : 運転日数7日間、運転回数489回、乗車人員5,998人（13人／回）
 ウ HOゲージ鉄道模型運転会 : 運転日数 36日間
 エ ミニ新幹線体験乗車 : 運転日数 10日間

4 広告・宣伝・誘致活動

項目	交通科学博物館	梅小路蒸気機関車館
ア ポスターの掲出		
（ア）JR駅貼り	(6回) 1,902枚	(5回) 1,305枚
（イ）近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(5回) 465枚	(5回) 595枚
（ウ）館内掲出	(4回) 21枚	(5回) 15枚
イ 催し物案内チラシの配布		
（ア）近畿圏のJR駅	(4回) 27,200枚	(6回) 35,500枚
（イ）館内配布	(4回) 5,400枚	(6回) 3,000枚
（ウ）近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(4回) 32,300枚	(6回) 17,500枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 （関係記者クラブ、出版関係各社等）	毎月合計約230箇所 へ配布	毎月合計約210箇所 へ配布
エ 誘致活動		
（ア）ホームページによる情報発信（アクセス件数）	458,631件 (1日平均1,257件)	325,338件 (1日平均891件)
（イ）マスコミ取材対応	29件（掲載、放送は、確 認分のみで73件。）	41件（掲載、放送は、 確認分のみで40件。）
（ウ）宿泊施設との契約	2社	2社

5 教育普及活動

(1) 交通科学博物館

ア 交通に関する知識の普及、社会教育の実施

(ア) ミュージアム探検ツアー（毎土・日・祝日。学芸員が展示の見所や普段公開していない実物車

両などを案内し、解説。)

: 実施日数 116 日、参加者 4,273 人 (37 人/日)

(イ) わくわく工作スクール (幼年・小学生向けの工作指導)

: 実施日数 6 日、参加者 142 人

(ロ) 夏の工作スクール (夏休み期間中、小学生を対象に鉄道模型ミニジオラマの工作指導。)

: 実施日数 2 日、参加者 40 人

(エ) ママとこどものわいわい工作 (夏休み期間中、親子を対象にオープンねんどの工作指導。)

: 実施日数 3 日、参加者 30 組 60 人

(オ) セミナーの実施

a) ミュージアム探検ツアー外伝「えきたんけん! ~弁天町~」(夏休み期間中、小学生を対象に弁天町駅の見学会を開催。)

: 実施日 7 月 21 日・28 日、8 月 4 日・25 日 (計 4 日) ・参加者 24 人

b) みなと探検隊 (親子を対象に、大阪港の海事セミナーを開催。)

: 実施日 11 月 6 日 ・参加者 17 組 34 人

c) 森ノ宮電車区探検 (親子を対象に、森ノ宮電車区の社会科見学を開催。)

: 実施日 平成 23 年 3 月 29 日 ・参加者 20 組 40 人

(カ) 図書室の公開 : 公開日数 116 日、図書室利用者 1,265 人 (1 日あたり約 11 人)

(キ) 一般・学生等からの交通に関する質問、照会、調査への対応 : 回答・調査件数 235 件

イ 館内視察等への対応および交通に関する研修指導の実施

(ア) 韓国ウソン大学学生等来館 : 9 名 (8/1)

(イ) 平成 22 年学芸員博物館実習 : 3 名 (8/20~31)

(ロ) 松江市第三中学校生の 1 日研修受け入れ : 3 名 (9/15)

(2) 梅小路蒸気機関車館

ア 交通に関する知識の普及、社会教育の実施

(ア) S L 館トーク (講演会)

「京都を走った英国製蒸気機関車」 : 実施日 5/15、参加者 15 人

「英国鉄道の興味」 : 実施日 平成 23 年 2/26、参加者 10 人

(イ) 蒸気機関車整備体験 (1080 号蒸気機関車の車輪や主連棒などの整備を JR 西日本社員の指導のもとに実施。)

: 実施日 9/11、参加者 24 人

(ロ) 蒸気機関車なんでも相談 (鉄道友の会京都支部会員 (ボランティア) による「ふとした疑問」についての説明会。)

: 実施日 5/3、11/3、参加者 多数

(エ) 交通に関する質問、調査への対応 : 回答・調査件数 11 件

イ 館内視察等への対応および交通に関する研修指導の実施

(ア) 学芸員課程実習生の実務実習・指導 : 3 名 (8/22)

(イ) 中学生の体験学習の受入・指導 : 3 名 (11/17、18)

6 資料の収集・整備・保存

博物館の根幹を成す資料について、JR 西日本を中心に一般からも広く資料を受け入れており、ま

た収集および保管を永続的にできる良好な環境を維持し、将来に向けての活用を図るため、重点的に収蔵庫および収蔵資料の整理・整備を行った。

また、収集した交通関係資料の登録、マイクロ化、データベース化を進めている。

(1) 交通科学博物館

ア 収蔵庫・倉庫の整理

昨年引き続き、大型車両模型や展示装置などの撮影を行った。また、ヘッドマーク類の撮影も継続実施した。

イ 分類登録整理

・資料の登録・保管 543 件 ・図書の登録・保管 177 件

ウ 資料整理

・資料のデジタル化 鉄道公報、神戸駅所蔵アルバムなどをCD 4 枚に収録
・資料の裏打補修及びたとうの製作 72 点
・劣化図書の補修 16 点

エ 新規収集資料

・購入 資料 92 点 図書 142 点 ・受贈 26 件 3,972 点

オ 資料の貸出し

・公的機関、JR、マスコミへの貸出し 52 件

(例) アクアトトぎふ : 500系新幹線電車模型、500系パンタグラフ
広島市交通科学館 : 0系新幹線運転台、0系空気バネ、0系模型ほか
摂津市市役所 : H0 ゲージ模型

(2) 梅小路蒸気機関車館

ア 図書・倉庫の整理

廃品の処分および図書の整理を行った。

イ 新規収集資料

受贈図書類 26 点

ウ 資料の貸出し

「つばめ」ヘッドマーク (JR 東海) 等 14 件

7 博物館関係コミュニケーション活動等

ア NRM 姉妹提携 10 周年記念行事 (4/10 於: 梅小路蒸気機関車館)

イ 全国博物館館長会議出席 (6/9 於: 文部科学省)

ウ 京都市内博物館施設連絡協議会総会出席 (6/24 於: 京都国際マンガミュージアム)

エ 日英こども鉄道絵画展オープニングセレモニー (10/9 於: 交通科学博物館)

オ 全国博物館大会出席 (11/24、25 於: 奈良市)

カ 経営と技術移転に関する国際会議出席 (12/1~8 於: ｲﾀﾘｰ)

キ 日本博物館協会平成 22 年度研究協議会出席 (12/10、11、平成 23 年 1/13、14 於: 東京都)

ク 海外科学系博物館視察研修参加 (平成 23 年 1/10~21 於: ｲﾀﾘｰ、ﾌﾗﾝｽ、ｲﾀﾘｰ)

ケ 日本博物館協会平成22年度研究協議会出席（平成23年2/3、4 於：名古屋市）

コ 全国科学博物館協議会総会出席（平成23年2/24、25 於：千葉市）

8 館別入館者数の状況（館別入館者数の詳細は、「別表1」及び「別表1-2」のとおり。）

博物館	年間入館者数 (対前年) (対前年%)	概 要	
交通科学博物館	279,539人 (+1,737人) (100.6%)	第1四半期 (114.6%)	前年度のインフルエンザの反動による増
		第2四半期 (93.3%)	前年度イベント（プラレール）好調の反動による減
		第3四半期 (109.9%)	日英こども鉄道絵画展による増 前年度のインフルエンザの反動による増
		第4四半期 (91.0%)	寒波の影響による減
梅小路蒸気機関車館	217,830人 (▲15,408人) (93.4%)	第1四半期 (114.0%)	NRM姉妹提携10周年記念行事等による増 前年度のインフルエンザの反動による増
		第2四半期 (73.1%)	梅雨明けから9月の中旬までの例年のない猛暑日による減
		第3四半期 (93.5%)	団体入館者の増、個人入館者の減
		第4四半期 (95.5%)	寒波による家族連れ入館者の減
両館合計	497,369人 (▲13,671人) (97.3%)	—	年度を通じて、無料入館者の減（▲8,261人）が大きく影響。（厚生労働省要請による児童福祉週間の子供無料入館日を前年度6日間から今年度1日間にしたことなどによる。）

II 財団運営に関する事項

(1) 本年度の役員等の異動

ア 任期満了に伴う異動

(ア) 評議員

《退任》

稲見 光俊 菊岡 克彦 斎藤 峻彦 深澤 祐二

真鍋 精志 南 隆明 以上 平成22年6月15日付

《再任》

稲見 光俊 菊岡 克彦 斎藤 峻彦 深澤 祐二

真鍋 精志 南 隆明 以上 平成22年6月16日付

イ 前ア以外の異動

(イ) 理事

《退任》

里見 雅行 百田 和之 以上 平成22年6月23日付
 《新任》

川野邊 修 辻子 義則 以上 平成22年7月7日付

(イ) 監 事

《退任》

三浦 英之 平成22年6月23日付

《新任》

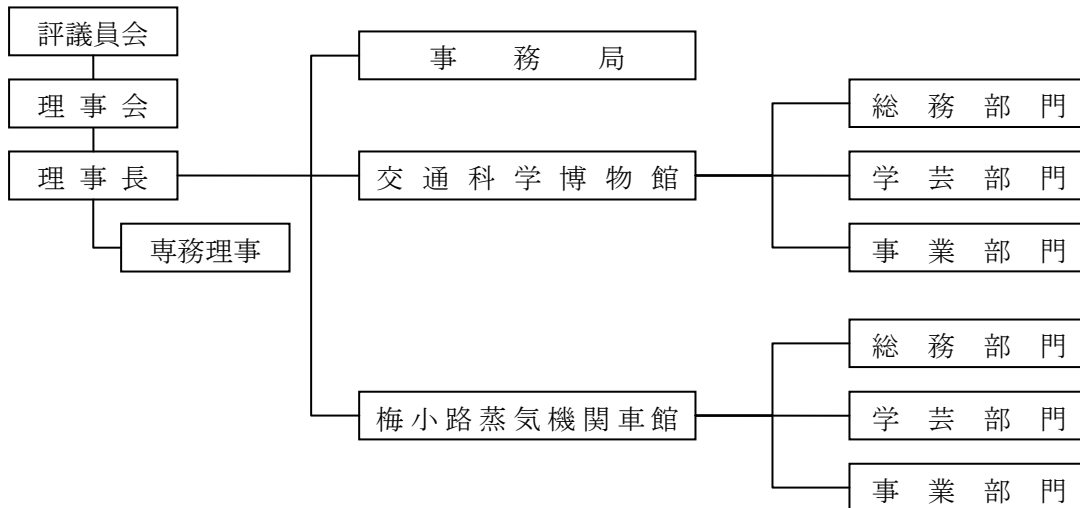
松浦 克宣 平成22年7月7日付

平成23年3月31日現在の評議員・理事・監事・顧問は、別表2のとおりである。

(2) 財団組織

本年度における財団の組織・構成員は、次のとおりである。

ア 組 織



イ 構成員

平成23年3月31日における構成員は、次のとおりである。

事業所名	職 員	嘱 託	計
事 務 局	(1)	(2)	(3)
交 通 科 学 博 物 館	12	2	14
梅小路蒸気機関車館	4	1	5
合 計	16	3	19

- ・役員を除く。
- ・交通科学博物館の職員にJRへの出向社員1名を含む。
- ・事務局員は、交通科学博物館の職員が兼務している。
- ・このほか、臨時雇用員を交通科学博物館において3名雇用している。

(3) 会 議

平成22年度に開催した会議は、評議員会5回 理事会4回、評議員選定委員会1回である。

ア 評議員会

第62回評議員会

- ・日 時 平成22年6月11日（金） 12時25分
- ・場 所 ホテルグランヴィア大阪20階 桐の間
- ・議 案 第1号議案 平成21年度事業報告の承認の件
第2号議案 平成21年度決算の承認の件
報告1 評議員の選任の件
報告2 主要規程の制定及び改正の件

第63回評議員会（書面表決）

- ・日 時 平成22年7月7日（水）
- ・議 案 第1号議案 理事の選任の件
第2号議案 監事の選任の件

第64回評議員会（書面表決）

- ・日 時 平成22年8月13日（金）
- ・議 案 第1号議案 新制度における最初の評議員の選任方法の件

第65回評議員会（書面表決）

- ・日 時 平成22年9月15日（水）
- ・議 案 第1号議案 最初の評議員候補者の推薦の件

第66回評議員会（書面表決）

- ・日 時 平成22年11月7日（日）
- ・議 案 第1号議案 定款の変更の案の件
第2号議案 平成23年度事業計画の件
第3号議案 平成23年度予算の件

イ 理事会

第63回理事会

- ・日 時 平成22年6月11日（金） 12時25分
- ・場 所 ホテルグランヴィア大阪20階 桐の間
- ・議 案 第1号議案 平成21年度事業報告の承認の件
第2号議案 平成21年度決算の承認の件
第3号議案 評議員の選任の件
第4号議案 主要規程の制定及び改正の件
第5号議案 西日本旅客鉄道株式会社に係る理事長の利益相反取引の承認の件

第64回理事会（書面表決）

- ・日 時 平成22年8月13日（金）
- ・議 案 第1号議案 新制度における最初の評議員の選任方法の件

第65回理事会（書面表決）

- ・日 時 平成22年9月17日（金）
- ・議 案 第1号議案 評議員選定委員会運営規程の制定の件
第2号議案 評議員選定委員会委員の選任の件
第3号議案 最初の評議員候補者の推薦の件

第66回理事会（書面表決）

- ・日 時 平成22年11月9日（火）
- ・議 案 第1号議案 定款の変更の案の件
第2号議案 最初の代表理事の選定の件
第3号議案 内部規程の制定及び変更の案の件
第4号議案 平成23年度事業計画の件
第5号議案 平成23年度予算の件
第6号議案 公益移行認定申請書提出の件

ウ 評議員選定委員会

- ・日 時 平成22年10月14日（木） 17時
- ・場 所 ホテルグランヴィア大阪19階 浮橋
- ・議 案 第1号議案 最初の評議員の選任について

(4) 公益認定取得に向けての活動の経緯

（評議員会、理事会、評議員選定委員会関係を除く。）

- ・平成22年6月11日 : 理事会、評議委員会終了後、財団の今後の方向について討議。
以後、公益認定取得の準備を開始。
- ・平成22年11月18日 : 内閣総理大臣宛てに移行認定申請書を提出。
- ・平成23年1月5日 : 公益認定等委員会事務局へ説明。
- ・平成23年3月25日 : 内閣総理大臣から認定書交付。
- ・平成23年4月1日 : 4月1日付で登記完了。公益財団法人交通文化振興財団となった。

III 関連事業

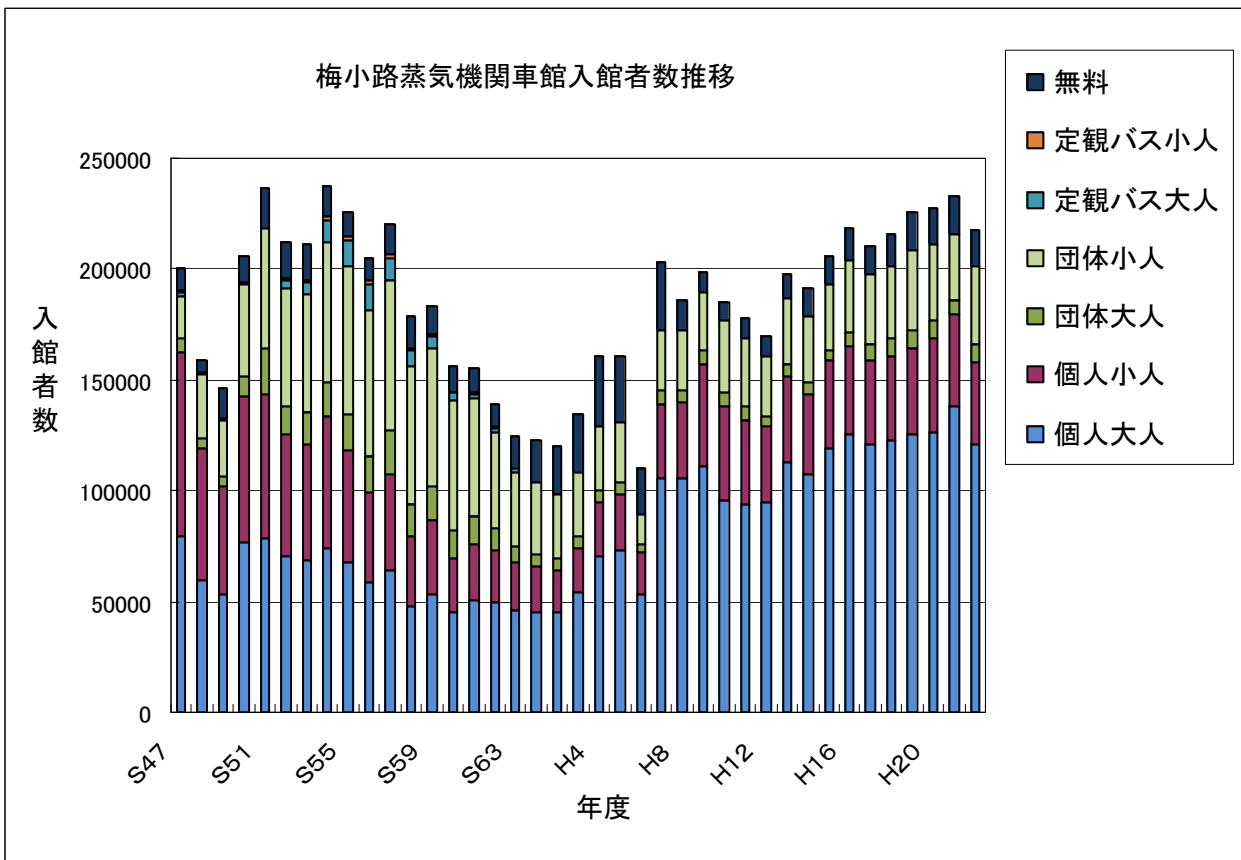
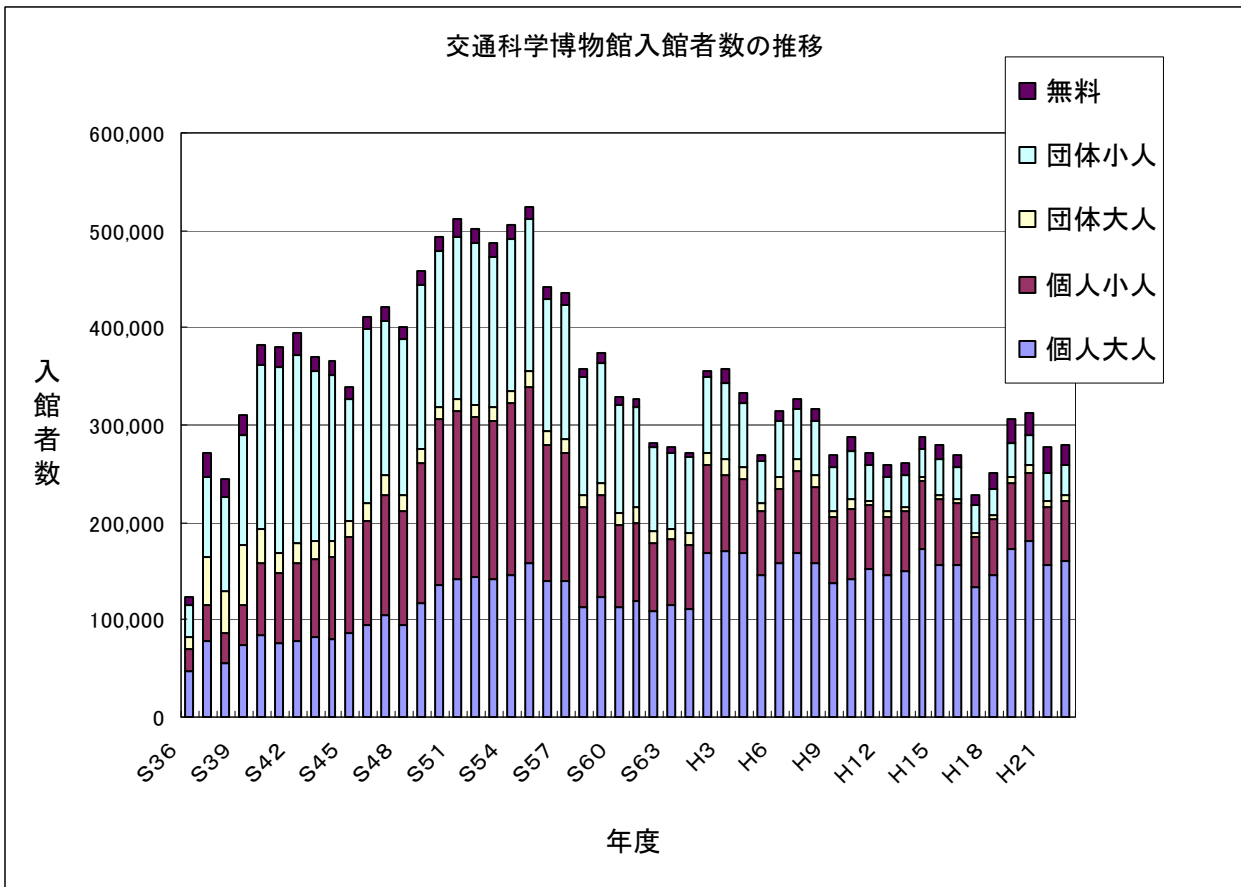
当法人が健全な発展をするための収益事業として、交通に関する書籍や各種のグッズ、土産品などの販売を行い、下記のような収入を上げた。

単位：円、%

	平成22年度	平成21年度	対21年度比較	
物品販売収入	58,474,897	56,961,387	1,513,510	103%
営業料収入	11,253,160	11,563,634	▲ 310,474	97%
雑収入	6,397,094	6,906,891	▲ 509,797	93%
計	76,125,151	75,431,912	693,239	101%

(別表 1)

	年度別 種別		平成22年度 (人)	平成21年度 (人)	対21年度比較	
					(人)	(%)
交通科学博物館	個人	大人	159,529	157,046	2,483	102
		小人	61,397	59,556	1,841	103
		計	220,926	216,602	4,324	102
	団体	大人	6,691	5,939	752	113
		小人	31,277	27,662	3,615	113
		計	37,968	33,601	4,367	113
	合計		258,894	250,203	8,691	103
	無料入館者		20,645	27,599	▲ 6,954	75
総合計		279,539	277,802	1,737	101	
入館料(円)		72,120,680	70,529,790	1,590,890	102	
梅小路蒸気機関車館	個人	大人	121,127	138,002	▲ 16,875	88
		小人	37,184	41,611	▲ 4,427	89
		計	158,311	179,613	▲ 21,302	88
	団体	大人	7,785	6,670	1,115	117
		小人	35,264	29,178	6,086	121
		計	43,049	35,848	7,201	120
	合計		201,360	215,461	▲ 14,101	93
	無料入館者		16,470	17,777	▲ 1,307	93
総合計		217,830	233,238	▲ 15,408	93	
入館料(円)		56,251,420	62,606,090	▲ 6,354,670	90	
2館 総合計	個人	大人	280,656	295,048	▲ 14,392	95
		小人	98,581	101,167	▲ 2,586	97
		計	379,237	396,215	▲ 16,978	96
	団体	大人	14,476	12,609	1,867	115
		小人	66,541	56,840	9,701	117
		計	81,017	69,449	11,568	117
	合計		460,254	465,664	▲ 5,410	99
	無料入館者		37,115	45,376	▲ 8,261	82
総合計		497,369	511,040	▲ 13,671	97	
入館料(円)		128,372,100	133,135,880	▲ 4,763,780	96	



(別表 2)

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
稲見 光俊	財団法人鉄道総合技術研究所 専務理事
菊岡 克彦	関西鉄道協会 専務理事
斎藤 峻彦	近畿大学 教授
深澤 祐二	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
真鍋 精志	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長
南 隆明	京都駅ビル開発株式会社 相談役

理 事 名 簿

役 職	常勤・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	佐々木隆之	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	守屋 實	財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	川野邊 修	東日本旅客鉄道株式会社 取締役総務部長
理 事	非常勤	島田 修	北海道旅客鉄道株式会社 常務取締役総務部長
理 事	非常勤	辻子 義則	西日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員広報部長
理 事	非常勤	萩本 健二	財団法人日本交通公社 常務理事
理 事	非常勤	溝口 正仁	社団法人日本鉄道車輛工業会 顧問

監 事 名 簿

役 職	常勤・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	竹山 健二	公認会計士
監 事	非常勤	松浦 克宣	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員財務部長

顧 問 名 簿

氏 名	現 職
竹内 哲夫	財団法人交通文化振興財団 元会長

平成23年3月31日現在 五十音順 (敬称略)